

盛川 智彦 氏 (井原水産(株)執行役員)
秋山 敏幸 氏 (北海道電力(株)グループリーダー)

【開催日時・会場】

開催日時 平成19年3月28日(水) 13:30～16:30
開催場所 国立大学法人北海道大学
学術交流会館 講堂(札幌市北区北8西5)

定員 250名
参加料 無料

【主催等】

主催 北海道バイオマスネットワーク会議
後援 廃棄物学会北海道支部

【懇親会】

フォーラム終了後、17:30から「四川飯店(札幌エスタ)」(中央区北5西2札幌エスタ10F)において懇親会を予定しております(定員:50～70人)。会費は4000円の予定です。

【参加申込】

「北海道バイオマスネットワーク・フォーラム参加申込書」により、3月15日(木)までに事前に事務局までお申し込み下さい(電子メール又はFAX)。

北海道バイオマスネットワーク会議のHPをご覧ください。
(http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/jss/recycle_2/biomass/biomass_top.htm)

帯広市、白老町の「バイオマスタウン構想」を公表!

農林水産省は、平成19年1月31に、「バイオマスタウン構想に」構想書を提出した道内の帯広市、白老町の取組内容を公表しました。

同構想を提出、公表されたのは道内で12市町村になります。

(詳細は http://www.maff.go.jp/www/press/2007/20070131press_2.html をご覧ください)

<帯広市>

ごみ減量化・資源化の推進、堆肥・緑肥などの導入による土づくりや、有機循環型農業の推進、農業廃棄物の適正処理など循環型・環境保全型の地域社会づくりに取り組んできた実績を活かし、大規模な農業をはじめとする農林水産業を基幹的な産業とする帯広・十勝地域における豊富なバイオマス資源の利活用を進め、環境に配慮した地域社会づくりを推進する。

<白老町>

産学官の緊密な連携のもと、白老町内から発生する廃棄物系バイオマスを利活用するシステムを構築することにより、循環型・環境負荷低減型の地域社会形成を図りながら、地域の基幹産業の振興を軸とした経済の継続的な活性化を目指す。

「第1回不法投棄対策工学講座勉強会」のご案内

本セミナーは、国、道、市等の関係者から、各々が実際に取り組んでいる廃棄物の不法投棄対策を撲滅して循環型共生社会を創るために、まず、何が

問題かを議論する場として、北海大学大学院工学研究科不法投棄対策工学講座により次のとおり開催されます。

題目：「不法投棄を撲滅して循環型共生社会を創ろう！

- まず、何が問題か？ - 」

日時：平成19年3月2日（金）14：00～17：00

場所：北海道大学学術交流会館2階 講堂（定員200名程度）

基調講演：不法投棄問題に対する現状の取組みと課題

「我が国における不法投棄の現状と課題(仮)」(環境省)

「本道における不法投棄の現状と課題」(北海道)

「千葉県の不法投棄対策の取組み」(千葉県)

「札幌市の不法投棄対策」(札幌市)

「不法投棄の事例と構造」((財)産業廃棄物処理事業振興財団)

「NPO・LS研「不法投棄対策」の研究報告」(NPO法人最終処分場技術システム研究会)

パネルディスカッション

懇親会：札幌アスペンホテル（札幌市北区北8条西4丁目）

参加申込：FAX或いはE-mailにてお申し込みください。

ご氏名

ご所属

ご連絡先（電話、FAX、E-mailアドレス）

懇親会へのご出欠

申込先：北海道大学大学院工学研究科北方圏環境政策工学専攻

不法投棄対策工学講座 担当：金 相烈（助手）

E-mail：ides@kanri-er.eng.hokudai.ac.jp

FAX:011-706-7583 TEL:011-706-7581

詳細につきましては、北海大学大学院工学研究科不法投棄対策工学講座のHPをご覧ください。

<http://kanri-er.eng.hokudai.ac.jp/ides/index.htm>

中環審が「食品リサイクル制度の見直しについて」意見具申！

中央環境審議会廃棄物・リサイクル部会食品リサイクル専門委員会と食料・農業・農村政策審議会総合食料分科会食品リサイクル小委員会の合同会合が検討していた、「食品リサイクル制度の見直しについて」の意見が2月2日までにまとめ、鈴木中央環境審議会会長から若林環境大臣に具申した。

見直しの方向性は、次のとおり。

19年度以降の再生利用実施率(新目標値)の設定

業種や業態の特性を踏まえた発生抑制に関する目標の設定

情報公開の要請など食品関連事業者の意識向上策の推進

現行制度でリサイクル手法と認められている4手法(肥料化、飼料化、油脂・油脂製品化、メタン化)それぞれについてのリサイクル促進策の推進

バイオエタノール化など4手法以外のリサイクル手法の法対象への追加

再生利用製品の品質・安全性確保策の徹底

食品循環資源の収集運搬を円滑化するための再生利用事業認定計画制度
見直し

チェーン展開する食品関連事業者に対する取扱い見直し

市町村、都道府県との連携推進

学校の法対象への追加

消費者が取り組むべき事項の明確化と消費者向け普及啓発の実施 等

環境省は、この意見具申を踏まえた、食品リサイクル法改正法案を農林水産省とともに第166回国会に提出する予定。

詳細は、以下のHPをご覧ください。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=7994>

事務局日より

冒頭、ご案内しましたとおり、北海道バイオマスネットワーク会議主催のフォーラムを3月28日(水)13:30~北大学術交流会館で開催します。今回は、食品系廃棄物のリサイクルをテーマに道内外で先進的な取組をされている方々をお迎えして、各分野での取組や本道の未来について語っていただきます。

環境保全、新エネルギー創出、自給率向上、食の安全、地産地消など、多岐にわたる分野でございますので、みなさまお誘いの上、各界から多くの方々にご参加していただき、引き続き懇親会の場(四川飯店(札幌エスタ))で交流を深めていただければ幸いと存じます。

バイオマスに関する取組みや情報などを、このメールマガジンでご紹介させていただきますので、情報を事務局までお寄せください。内容・字数は問いません。

登録変更・解除について

配信登録の内容変更(送信先メールアドレスの変更など)や配信登録の解除につきましては、お手数ですが、事務局まで「変更の内容」や「登録解除」の旨をお知らせください。

このメールマガジンは、「北海道バイオマスネットワーク会議」事務局(北海道環境生活部環境局循環型社会推進課循環推進グループ)で配信しています。

* 〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目 *

* TEL:011-204-5197 FAX:011-232-4970 *

* E-mail: kansei.kanhai1@pref.hokkaido.lg.jp *
